

総合病院 中津川市民病院 を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお問い合わせ下さい。

研究課題名 (承認番号)	ロタワクチン導入前後における小児腸重積症の疫学変化に関する研究 2025-0139
当院の研究責任者 (所属)	木戸 真二 中津川市民病院 診療部 小児科医師
他の研究機関および 各施設の研究責任者	鳥居 ゆか 名古屋大学医学部附属病院 小児科
本研究の目的	本研究は、小児全体における腸重積症の発症頻度や発症年齢などの疫学的特徴に対するRVワクチン導入と、その他の胃腸炎などの影響を評価することが目的である。本研究はRVワクチンの有効性や安全性の評価に貢献することが期待される。
調査データ 該当期間	2005年1月1日から2029年12月31日までの情報を調査対象とする。
対象	●対象となる患者さま 腸重積症の入院症例800例 ロタ胃腸炎による入院症例200例 胃腸炎症例（外来含む）60000例 IgA血管炎症例（外来含む）100例
(使用する試料等)	●利用する情報 DPC・病院情報システムデータ
試料／情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	データは各施設で非識別化を行った後に取り扱う。情報の移転については、非識別化を行ったDPCデータファイルにパスワードをかけた上で、電子メールに添付する。
個人情報の取り扱い	名古屋大学大学院医学系研究科 小児科学（医系研究棟1号館5階）の施設可能な保管庫
本研究の資金源 (利益相反)	利益相反無し
お問い合わせ先	名古屋大学医学部附属病院小児科 担当者：鳥居ゆか
備 考	